

わかくさ学級の教育目標

障害の状態を改善・克服し、将来において社会人として生活を営むことができるように基礎的な能力と態度の育成に努める。

- ・健康で明るく素直な子
- ・進んで集団生活に参加し、人と協調できる子
- ・根気強く最後までやりぬく子
- ・自ら学ぶ子

この目標を達成するために、わかくさ学級では次のことを大切にしたいと考えています。

わかくさ学級で大切にしたいこと

〈健康で明るく素直な子〉

- ・意欲的に活動するための土台である健康な体を育てるために、家庭と協力して生活のリズムを確立させたい。
- ・日常の生活や宿泊学習等の学習を通して、家庭と協力し、身辺自立に向けての意欲と具体的な力をつけ、健康的な生活を主体的に過ごせるようにさせたい。
- ・子ども一人一人のよさが認められ、安心して自己表現できる環境のなかで、健やかな人格を育てたい。

〈進んで集団に参加し、人と協調できる子〉

- ・集団で生活するうえでのルールやマナーを理解し、その場に応じた行動がとれるようにしたい。
- ・当番や係等の活動を通して、集団の一員として主体的に役割を果たす喜びを味わわせたい。
- ・交流学年を決め、年間を通じて計画的に交流教育を行い、いろいろな人と関わる経験を重ねたい。その他にも、交流できる機会があれば積極的に関わらせていきたい。また、校内における特別支援学級に対する理解を深めていきたい。

〈根気強く最後までやりぬく子〉

- ・常に少し頑張ればできる課題を設定し、達成する経験を重ねることで、できる喜びやわかる楽しさを十分に味わい、主体的に活動し、やりぬこうとする意欲を養いたい。
- ・学習に成果や成長を互いに認め、喜び合い、最後まで頑張ることの大切さを学ばせたい。

〈自ら学ぶ子〉

- ・行事や授業の中でいろいろな体験をさせることにより、興味・関心を広げ、自ら学ぼうとする意欲を高めたい。
- ・一人一人に応じた課題を設定し、教材を工夫することにより、理解する喜びを感じさせ、意欲的に学ぼうとする気持ちを育てたい。

〈家庭との連携〉

- ・児童の成長のためには、家庭と学校がよく話し合うことで理解し合い、信頼関係を築き、力を合わせていくことが大切だと考えている。